

県政日誌

(12/16 ~ 1/15)

- 12/16 国連大学グローバル・セミナー第6回  
沖縄セッション開会式  
" 県社会福祉協議会への寄附金贈呈式  
第8回チャリティー芸能公演実行委員会  
" 表敬 国土地理院院長 渡邊茂樹氏
- 12/17 表敬 内閣府大臣政務官 西銘順志郎氏  
" 面談 国税庁長官 大武健一郎氏  
" フィリピン台風被害に対する見舞金贈呈式  
" 表敬 有馬礼子氏、日暮怜司氏  
" 文化振興事業資金寄附金贈呈式
- 12/20 表敬 日本郵政名誉会長 根本二郎氏  
" 表敬 在大阪ドイツ総領事  
カール・ヴォカレック氏
- 12/21 表敬 全日本空輸(株)取締役社長  
大橋洋治氏
- 12/24 下地島空港の軍事利用に反対する宮古郡民  
総決起大会決議書の手交
- 12/27 第46回米州開発銀行(IDB)年次総会100  
日前イベント
- 12/28 表敬 第43次本土土豆記者沖縄取材班(北海  
道、長野県)  
" 仕事納め
- 1/4 仕事始め  
" 沖縄観光コンベンションビューロー新春の  
集い
- 1/6 平成17年消防出初め式  
" 知事視察 具志川職業能力開発訓練校・中  
部農業改良普及センター
- 1/7 平成17年沖縄県警察年頭視閲式
- 1/12 表敬 河相周夫外務省北米局長  
" 海フェスタおきなわ実行委員会第1回総会  
" 羽地ダム竣工式  
" 衆議院安全保障委員会への要望書提出等  
" 表敬 IDB寄附金贈呈式 コザ信用金庫、大  
同火災海上保険(株) おきなわ証券(株)
- 1/13 表敬 北里大学医学部整形外科教授 糸満  
盛憲氏 第35回日本人工関節学会  
" 参議院沖縄特別委員会への要望書提出等

12月24日 下地島空港の軍事利用に反対  
宮古郡民総決起大会決議書を手交



下地島空港の軍事利用に反対する宮古郡民総決起大会の実行委員長である伊志嶺亮平市長らが、昨年12月24日県庁を訪れ、11月28日に実施した総決起大会の決議を嘉数副知事に手渡した。

伊志嶺市長らは、下地島空港の使用に関して、「民間航空以外の目的には使用させない」とする琉球政府と日本政府間で交わされた“屋良覚書”にある同空港建設当初の理念を遵守することを強く要望、さらに日米地位協定の抜本的見直し等について求めた。

嘉数副知事は、県も認識を共有している旨述べた。

12月17日 クラシックと琉球音階の融合  
交響曲「沖縄」



東京音楽大学名誉教授の有馬礼子氏が、昨年12月17日、夫でプロデューサーである日暮怜司氏と稲嶺知事を訪れ、交響曲「沖縄」の楽譜等を贈呈した。

有馬氏は、クラシックと沖縄に古来から伝わる琉球音階との初の融合を試み、約3年前から曲制作に取り組んでこられた。同曲は、第1楽章『宮古』、第2楽章『八重山』、第3楽章『首里』の計3楽章からなり、120ページに及ぶ楽譜の演奏時間は30分弱になる。

有馬氏は、「曲をやさしく書くことの難しさを痛感した」と語り、贈呈した楽譜について「子どもにも演奏してもらえるようやさしく書いている。子ども達の情操教育に役立ててほしい」と述べた。

1月13日 参議院沖縄・北方特別委員会へ要請



沖縄県の人口・世帯の動き  
平成16年12月1日現在推計

- 人口 135万9,525人  
前月比1,212人増
- 世帯 48万8,168世帯  
前月比833世帯増

参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会(木保佳丈委員長)のメンバー8人が、1月13日県庁を訪れた。

県側は、米軍基地問題(整理縮小や海兵隊の演習・訓練の県外・国外への移転、在沖米軍兵力の削減等)の解決促進や沖縄科学技術大学院大学の設置促進について、全国水準を大幅に上回る完全失業率を改善するための雇用対策の推進についてなど計11項目を要請した。

12日から来沖していた一行は、昨年8月に米軍輸送ヘリコプターが墜落した宜野湾市の沖縄国際大学など本島各地を視察し、14日に帰京した。

1月7日 県民の安全・安心の確保を決意  
沖縄県警察年頭視閲式

県警の年頭視閲式が、1月7日、北谷町美浜の北谷町公共駐車場で行われ、警察官480人が稲嶺知事から来賓客230人を前に、警察活動の士気の高さを県民にアピールした。

三浦正充県警本部長は、今年の県警の運営指針を「県民の安全・安心を確保する警察活動の推進」とし、「築きます 安全・安心ちゅうちな〜」をキャッチフレーズに決意を新たにしました。

来賓によるあいさつの後、実践的逮捕術訓練や白バイ隊走行訓練、県警音楽隊による演奏等、日頃の成果が披露された。

